

校長室だより No.2

コロナ禍と見えないカリキュラム

2022年 4月13日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

4月11日(月曜日)に入学式を行いました。今年は1家庭2名の参加で実施しました。式辞の中で、これは規制緩和ではなく、子供の成長に欠かせない大切な見えないカリキュラムなので、それを大切にしたいという思いで決めたことを次のようにお話ししました。

今年は入学式に参加できる方を1家庭2名に増やしました。それは子供たちの成長をできる限り見ていただきたいという思いからです。子供たちの成長には、言葉がけをしてもらったり、がんばっている姿を見てもらったりすることが、不可欠なものです。学校には、国語や算数といった見えるカリキュラムと、今申し上げたような、人との関わりがもたらす見えないカリキュラムのふたつのカリキュラムがあります。コロナ禍により、この見えないカリキュラムが奪われており、その影響は大変大きいと危うんでいます。土小学校では、出来る限り子供たち同士の交流を大切にされた教育活動を行ったり、子供の様子を外の方々に見ていただいたりする機会を、感染対策を施しながら積極的に設けていきたいと考えております。

今週末には授業参観と懇談会を全校同時で行います。各家庭1名と制限させていただきます。廊下で間隔を確保して参観していただきたいのですが、1mというような距離は確保できません。なのになぜ?と思われるね。4月、子供たち一人一人の顔つきは確実に進級した顔つきで登校してきました。学年が上がるということが、顔つきやちょっとした行動に変化をもたらしています。その姿をご覧いただき、見て感じたことを子供にお話いただくことが、成長につながる「見えないカリキュラム」になるからです。短いですが、学年保護者会(低学年は学級保護者会)を実施します。担任する先生の直接の声を聞くことが、紙ベースでは繋がらない人間関係の糸口になり、それも子供の成長に関わっていきます。

一方、当然のことですが、人が集まることにより感染リスクが上昇します。参観日実施による感染リスクを最大限に低下させることは、学校内では一切の私語を謹んでいただくことを、完全にお守りいただきたいと願います。子供たちにも、校内では親に話しかけないように指導し、その点は徹底したいと考えております。家に帰ってから見て感じたことや子供の頑張りを十二分にお話いただきたいと思えます。保護者の皆様のご協力により、見えないカリキュラムを復活させていきたいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。